



発行 認定NPO法人 児童虐待防止協会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15 大阪府社会福祉会館3F tel 06-6762-4858 fax 06-6762-4884 ホームページ <http://www.apca.jp>

## 新たなパートナーと共に協会活動の強化へ

児童虐待防止協会は、1990年3月に子ども虐待防止を目的として我が国で最初に設立された民間団体で、来年度は30周年を迎えます。この間、協会は電話相談、グループケア、子どもの支援などの独自事業を、また近年では大阪府・市等の行政機関からの受託事業を展開してきました。これらの事業活動を通じ、伝統・活動実績面などから子ども虐待に関わる老舗のような存在として、私個人は協会を見てきました。しかし、設立から30年近い歳月が過ぎ、国の法改正や体制強化などもあり、この問題に対する社会環境は大きく変化し、協会としても節目の段階にきているように思います。「子どもを何とか救いたい」、「子育てに悩む保護者に支援したい」という会員の熱い気持ちは変わりませんが、児童虐待という課題の特殊性もあり、社会的認知度は、「知る人ぞ知る老舗的なイメージ」で留まってきたように思います。

協会内でも、「もう少し社会的認知度を高め、活動の理解者を増やしたい、幅を広げたい、そのためには今まで通りではいけない」という共有した認識はありましたが、具体的な動きへの壁になっていたのが、活動を手助けしていただく人とその資金の確保でした。活動は、主に本来業務を有したボランティア精神による人々で行われてきたため、自ずとその幅には限界があったように思います。また、事業には安定した財源基盤が不可欠ですが、設立の契機となった関西テレビからの多大なご支援もあり、この問題にあまり真摯に向き合ってこなかったように思います。これらの壁に、どのように挑み、活動強化を図るかが喫緊の課題と考えています。

幸いなことに、少しずつですが新しい芽生えも見られます。昨年度は認定NPOの承認を受け、寄付金の窓口を拡大しました。また、一般財団法人H2Oサンタ主催の「NPOフェスティバル（場所：阪急うめだ本店9階祝祭広場）」などに参加し、広報活動の幅を広げることができました。こうした活動を通じて支援の輪が広がってきたように思います。今年度も8月31日～9月2日にNPOフェスティバルがあり、その準備段階にSMBCグループ各社の社員の方々を中心に18名のボランティアの皆様にご協力をいただきました。昨年に続き、今回も参加していただいた方もおられたことや、当日に配布したホットラインのカードやポスターなどは、2017年度の三井住友銀行ボランティア基金により作成したものであったこと

からそのことが伺えます（活動内容は本紙別欄で紹介していますのでお読みください）。また、来年30周年を迎えるのを機に新たなパンフレット作りに取り組みむために、ホームページのリニューアル等でお世話になった認定NPO法人サービスグラントを通じ、パナソニックグループのプロボノワーカーの方々にご協力を得ることになりました（※）。現在、協会のセールスポイントや成果指標などをご理解していただくべく、夜、遅くまで協会関係者とのヒアリングを行っていただいています。このように、間接的に活動を支えていただく新たな芽が出てきているように思います。

勿論、本質的な課題が残っています。このような温かいご支援を、協会が今後どのように生かしていくかということです。近年、子育てや子どもの虐待への支援に関わるNPO団体の数は増加し、また市町村も力をつけてきています。今日まで培ってきた活動の専門性、独自性をアピールするだけでなく、子ども虐待防止における様々な分野の中から、さらにターゲットの明確化、どのように活動を展開するか、そのことを検討する段階にきています。

いずれにしても、「人間関係の中で生じた問題は、人間でしか解決できない」という言葉がありますように、多くの支援パートナーの方々の協力も得て、虐待問題の解決に協会は尽力したいと思っています。最後に、この間多くのご支援をいただきました各団体のボランティアの皆さまには厚くお礼を申し上げます。

※プロボノワーカーとはプロジェクトのマネジメントやマーケティング、調査、デザイン等の専門的スキルを持った社会人ボランティアを言います。

（副理事長 石田 雅弘）

